

事業所から 現場の声 商工会から



福相建設・福相農園
代表取締役
渡邊春治さん(小宮)

震災の時は崩れた道路の補修を終えてから避難しました。その後もずっと村の中で仕事をしています。道の駅には構想段階から関わり、雇用の場として作られた花き栽培ハウスでの事業にも取り組んでいます。これからは食べる物も作っていききたいし、新しい技術を使った栽培にも挑戦したい。若い世代が帰れる環境づくりが、さらに進むことを願っています。



飯館村商工会
経営指導員
茨木康志さん

商工会では、商工業者の補助金の申請や、実績報告などを支援しています。村内での再開に意欲的な事業所がある一方、小売業などは人口の回復を待つ傾向にあり、活性化には、若い世代の帰還がポイントになると考えています。商工会も、村のサポートを受けながら、いいたてプレミアム付商品券の発行やイベント開催など、会員と共にさまざまな事業を行っています。

全村避難からの取り組み(一部)



補助金の活用の補助
損害賠償申請の補助
課題への相談・対応

写真は村が計画的避難地域に指定された際の企業向け説明会。

全村避難の中での
特例による継続操業
線量管理などの
課題に対応



村内で事業を継続した事業所は、従業員の線量管理を行いました。

避難中、飯坂温泉に
「いやしの宿いいたて」を開設



宿泊のべ1万2,000人
日帰りのべ8万5,000人
が利用しました

いやしの宿の入口。送迎バスも運行しました。

避難先での仮設
事業所を整備

- 福島市松川町…3件
- 福島市飯野町…5件
- 川俣町…4件
- 二本松市…1件
- 伊達市…4件
- 相馬市…1件 計18事業所

写真は松川第一仮設の敷地内で営業した「琥珀」。



「きこり」の再開・観光資源の再生



大火山つつじの森

宿泊体験館きこり

特産品、販促活動
県内外イベントへの出展



県外にも出展を続けました。写真は「ふくしま大交流フェスタ2018」(東京都)。

全村避難により、旧産業振興課商工観光係は、商工労政係に再編されました。当初は事業所の移転や休業に伴う補助金の申請、賠償の請求などを支援。避難中、村内での継続操業事業所への対応も行いました。その後、避難が長期化する中で、村内外での事業再開に支援を続けました。避難指示解除の前後には、コンビニエンスストアや道の駅の開業もありました。商工会などと連携し、イベント開催にも取り組んでいます。また、大火山つつじの森、村民の森あいの沢の再整備も行っています。8月20日現在、83の事業所が、村内で営業しています。商工労政係は、いいたてプレミアム付商品券の発行など新たな企画にも挑戦しながら、商工業の再生を進めています。

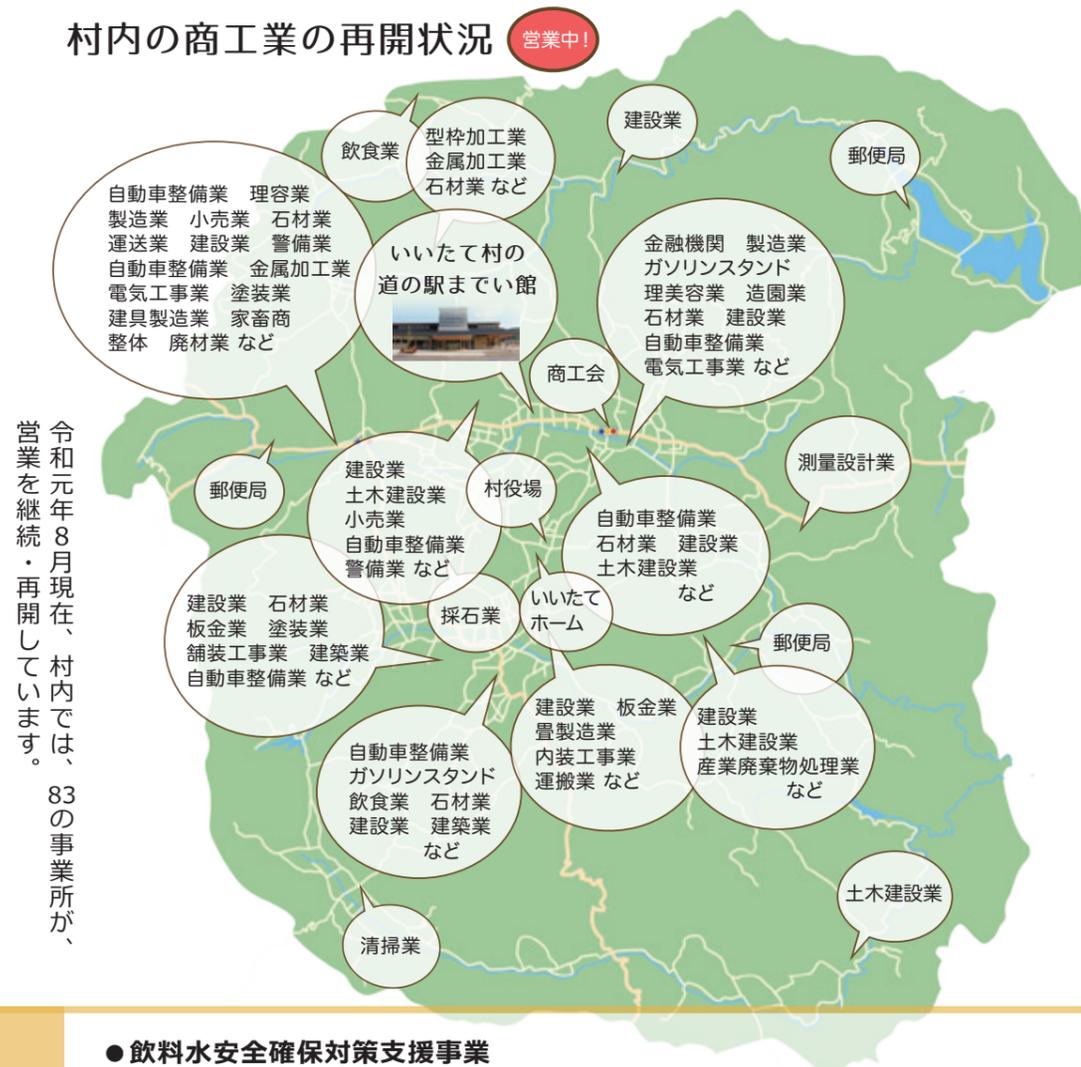
連載

復興対策課の挑戦

Vol.1 商工業の再生

かつてない課題に向き合い、村の再生にまい進してきた8年半の軌跡を、復興対策課の取り組みにスポットをあて、シリーズで振り返ります。

村内の商工業の再開状況



主な事業の実績

●飲料水安全確保対策支援事業

井戸掘削・簡易水道接続補助金
平成27年度～平成30年度(井戸掘削:112件、簡水接続:29件) **9748万8,000円**
平成23年3月11日時点で、16行政区(長泥、蕨平、比曾、前田・八和木の4行政区以外)に住んでいて避難指示解除後、速やかに帰村を予定している世帯のうち、希望する世帯に井戸掘削又は簡易水道への接続を支援。

●飯館村事業再開等支援補助金

平成28年度～平成31年度(39件) **3202万5,000円**(8月末現在)
「福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金」の採択事業者で補助金交付決定額に補助残である自己負担分を加えた額の5%を支援。